

産業厚生常任委員会資料

令和元年9月5日

産業振興部 農地整備課

目 次

- ・鳥獣被害対策の取組について

取組方針	……	P 2 ～ 3
取組内容	……	P 4
実績から見る効果と分析	……	P 5 ～ 7
今後の課題	……	P 7

【取組方針】

「地域ぐるみで取り組む集落柵整備と加害個体の集中捕獲」

方針の設定について

・イノシシの生態



体長：120～150cm
体つきはずんぐりしています。
毛はかたくて丈夫です。

体重：50～100kg
生まれたときは約500gですが、1歳で20～30kgにまで成長します。

臭覚は優れていますが、嫌いな臭いは特になく、木酢液やクレオソートの臭いも平気です。
鼻先の力は強く、重さ60kgのものでも動かせる。

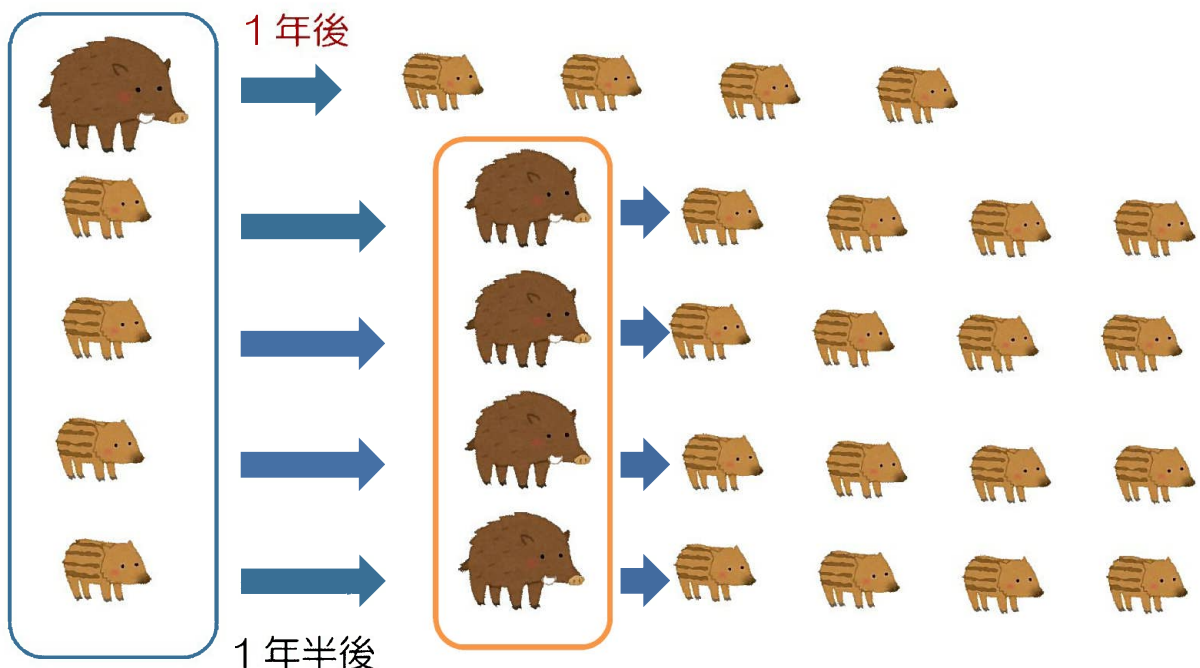
雑食で、木の実や根、ミミズなどを食べます。

兵庫県ではほとんどのメスは**1歳から子どもを産む**ことができます。
子どもの数は平均**4頭**です。

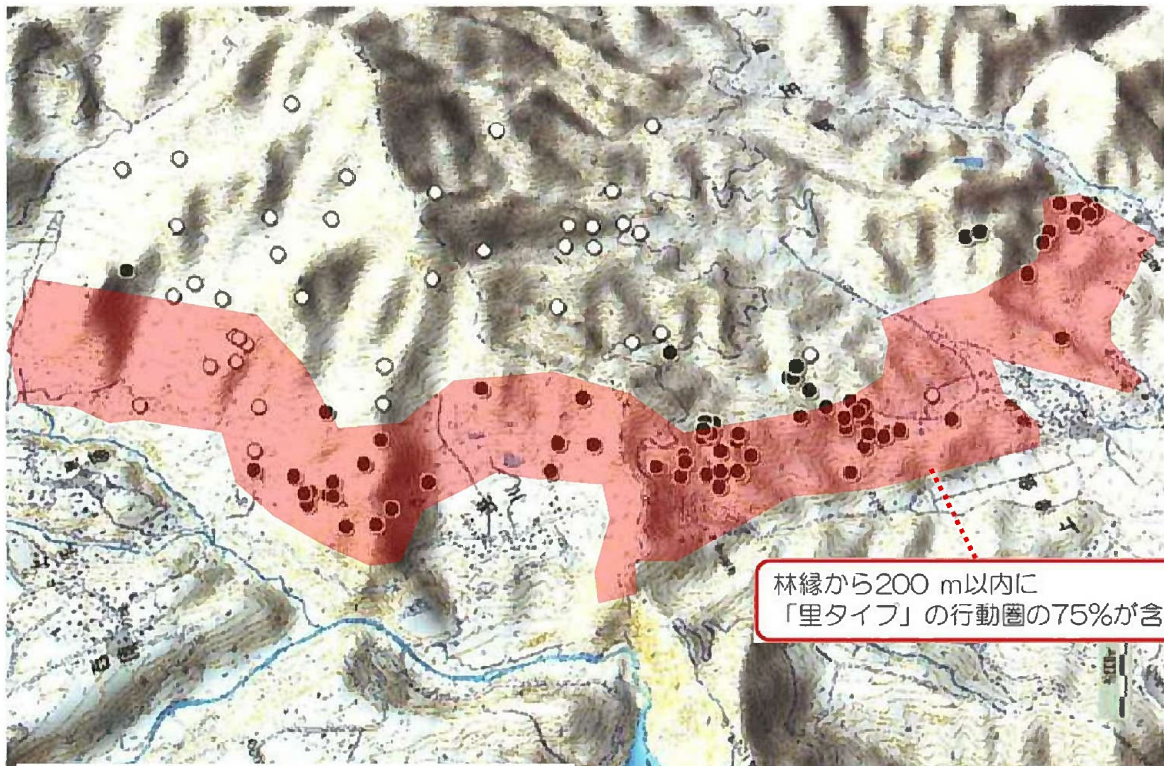
本来、**警戒心が強く**、とても臆病です。人の気配に気づくと隠れたり逃げたりします。

・イノシシの繁殖力

◎強い繁殖力



・イノシシの生息域



○：一度も田畑に下りてこなかったイノシシ
●：田畑にいたイノシシ

出典：環境省「イノシシの保護管理に関するレポート(平成25年度版)」

北杜市（須玉町・高根町）の例

考察

- 1 イノシシは強い繁殖力があることから、個体数自体を減らすことは難しい。
- 2 イノシシは耕作地に頻繁に出没する「里タイプ」と、山奥から林縁部までの広い行動圏を持ち、耕作地に出没しない「山タイプ」がいる。

上記1，2より、イノシシの繁殖力の強さから、山林に生息する個体を捕獲するのではなく、耕作地を行動圏に含んでいる「里タイプ」のイノシシ（加害個体）を捕獲することが効果的である。加害個体を効率的に捕獲するために、捕獲場を限定し、耕作地への侵入を防ぐことを目的として集落柵を設置する必要がある。

以上のことから

「地域ぐるみで取り組む集落柵整備と加害個体の集中捕獲」

を取組方針として設定する。

【取組内容】

- ・加害個体の捕獲（有害鳥獣捕獲）

	H26	H27	H28	H29	H30	合計
イノシシ（頭）	22	20	30	27	28	127

- ・集落柵の整備（国の補助事業による獣害対策柵設置状況）

地区	前年度まで	H30年度	集落毎の計
	金網	金網	金網
1 畑	1,238m		1,238m
2 下久米	990m		990m
3 下三草	750m		750m
4 馬瀬	1,550m		1,550m
5 牧野	1,895m	600m	2,495m
6 下鴨川	1,700m		1,700m
7 平木	1,763m	1,000m	2,763m
8 光明寺	2,490m		2,490m
9 上滝野	920m		920m
10 高岡	672m	900m	1,572m
11 古家	1,089m		1,089m
12 常田	743m		743m
13 少分谷	1,300m	550m	1,850m
14 貞守	2,765m		2,765m
15 長井	837m		837m
16 岡本	2,181m		2,181m
17 新定	1,320m		1,320m
18 吉井		1,300m	1,300m
19 小沢	1,122m		1,122m
20 厚利	845m		845m
21 松沢	1,460m		1,460m
22 大畑		912m	912m
23 蔵谷	1,565m		1,565m
24 藪	1,422m		1,422m
合計	30,617m	5,262m	35,879m

- ・啓発活動

獣害対策セミナー

平成28年度「アライグマ・イノシシの生態と被害対策について」 参加者 130名

平成29年度「イノシシの生態と防護柵について」 参加者 77名

平成30年度「地域ぐるみの被害防止について」 参加者 63名

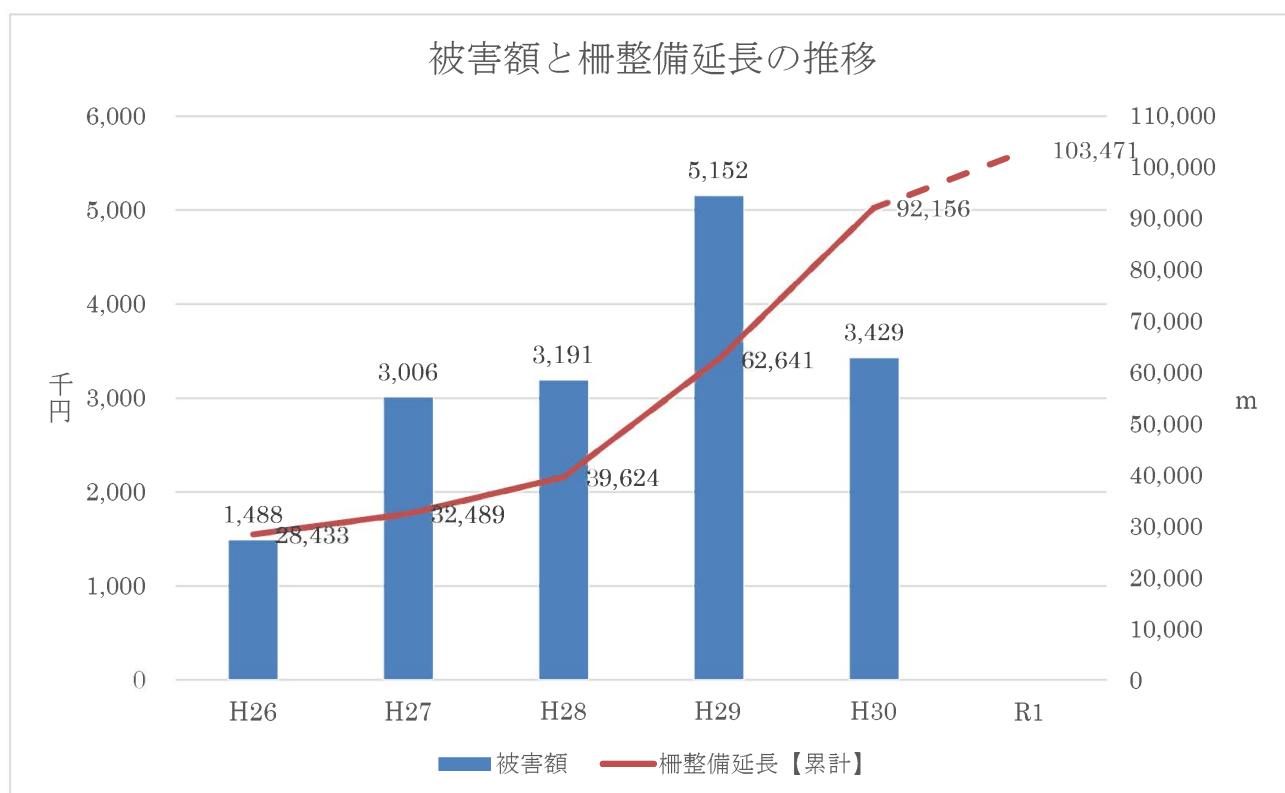
【実績から見る効果と分析】

①被害額と集落柵の累計整備延長

(単位:千円,m)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
被害額	1,488	3,006	3,191	5,152	3,429	
柵整備延長【累計】	28,433	32,489	39,624	62,641	92,156	103,471

(予定)



被害額は H26 から H29 まで増加しており、H30 は減少している。

集落柵の延長は H26 から H28 まで微増で、H29 以降は大きく増加している。

<効果と分析>

H29 に集落柵の延長が大きく増加した結果、H30 年度の被害額が減少したことから、集落柵の延長が増加すれば被害額は減少すると推測される。

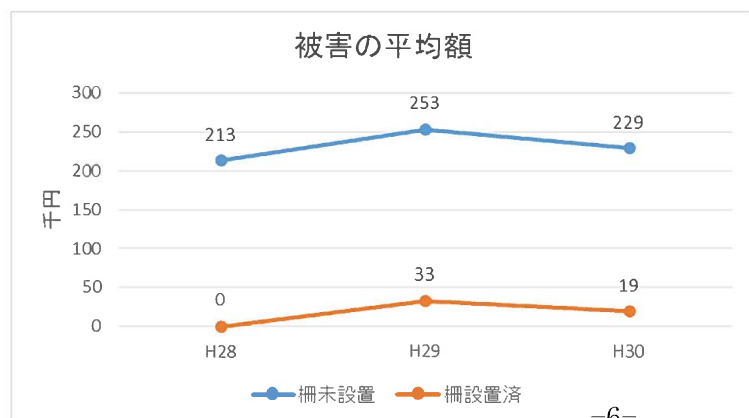
まだサンプル数が少ないので、今後も取組方針に基づいて集落柵の延長を増加させていくことで、集落柵の効果を実証する。

②地区別の被害額と集落柵の整備状況

地区	28年度		29年度		30年度	
	被害額(千円)	H27柵設置(m) 金網	被害額(千円)	H28柵設置(m) 金網	被害額(千円)	H29柵設置(m) 金網
1 山国			81		128	
2 廻渕					186	
3 池之内					144	
4 上久米	138		972		199	
5 牧野	947				145	1,097
6 袴鹿谷					297	
7 西戸			159		197	
8 長井		716		121	26	
9 長谷	57				28	
10 黒石			402		253	
11 横谷	300		52		209	
12 岩屋			86		287	
13 新定	195		537		1,083	
14 吉井					57	
15 蔵谷			200		106	
16 藪	172		472		84	1,422
17 厚利	149					845
18 嬉野	161		78			
19 黒谷	57					
20 下久米	127					
21 天神	23		17			
22 平木	34		52	806		957
23 福吉	716					
24 古家	81					
25 森尾	34					
26 岡本			221			
27 久米			271			
28 栄枝			489			
29 貞守			48	625		2,140
30 下三草			158			750
31 少分谷			41			
32 曾我			124			
33 野村			618			
34 森			30			
35 依藤野			44			
36 松沢						1,460
37 下鴨川						1,700
38 光明寺						1,272
39 上滝野						920
40 高岡						672
41 蔵谷						1,565
合計	3,191	716	5,152	1,552	3,429	14,800

集落柵未設置地区・設置済地区の被害額と平均額

	H28		H29		H30	
	柵未設置地区 (15地区)	柵設置地区 (1地区)	柵未設置地区 (20地区)	柵設置地区 (3地区)	柵未設置地区 (14地区)	柵設置地区 (12地区)
被害額(千円)	3,191	0	5,052	100	3,200	229
平均額(千円)	213	0	253	33	229	19



(被害額/柵未設置地区数)

(被害額/柵設置地区数)

集落柵を設置して効果が出た地区数（集落柵を設置した地区で、前年度より被害額が減少した地区及び被害がなかった地区）

H28 1 地区（集落柵設置 1 地区）

H29 1 地区（集落柵設置 3 地区）

H30 1 1 地区（集落柵設置 1 2 地区）

<効果と分析>

集落柵を設置した地区の多くで、被害額の減少が見られる。また、被害の平均額についても、集落柵を未設置の地区に対して設置済の地区は極めて少額であると言える。

まだサンプル数が少ないので、今後も取組方針に基づいて集落柵の設置地区数を増加させていくことで、集落柵の効果を実証する。

【今後の課題】

- ・ 獣害対策は実施してから効果が出るまでに時間を要するため、長期的な視点で継続的に効果の検証を行う必要がある。
- ・ 集落柵の整備延長の増加や設置済の集落柵を維持管理ができる地域の体制づくりの支援
- ・ 増加しつつあるシカ被害防止に向けた対策